



新型コロナ 定期的な検査の考えは

加藤 敏彦議員

市が定期的を実施することは難しい
健康子ども部長

新型コロナの感染状況

(2022年3月7日現在、愛西市)

死亡者:40人
感染者数:2780人
(12月2人、1月381人、2月1195人)
市職員:39名
小中学校:
児童生徒357人、教職員数36人
(学年閉鎖17件、学級閉鎖11件)
高齢者・障害者施設:31施設220人
保育園や幼稚園:延べ48園246名
児童館・児童クラブ:延べ19館37名

▲本市のこれまでの感染状況

問 岸田政権は、ワクチンがあっても高齢者の3回目のワクチン接種をしない、検査キットの準備も十分できないなど対応が後手後手になった結果「第6波」の感染拡大を引き起こした。
日本共産党愛西市議団は、市長に「新型コロナウィルスから市民のいのちを守るための緊急対応を求める申し入れ」を行ったが、本市の感染状況や亡くなった方は何人か。

答 昨年12月は2人の感染者であったのが、1月は381人、2月は1195人だ。総合斎苑にて火葬のあった件数は、累計で3月7日現在40人だ。
問 集団感染を防ぐため定期的なコロナ検査(抗原検査やPCR検査)についてのどのようになっているか。
答 事業として定期的の実施することは難しい。

問 給食費の無償化、水道代の減免、米作臨時給付金、困っている人へ給付金など、市民への支援について、市はどのように考えているか。
答 新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し効果的な事業を検討、展開していきたい。

利用できるように改善を行ってほしい。市の見解を伺う。
答 利用範囲を広げて欲しいとの意見も聞いているので、現在の運用を継続しながら、検討する。

その他の質問

・永和駅周辺の整備は

問 日本共産党愛西市議団は「高齢者福祉タクシー券の利用先制限をなくす請願署名」を行っており、連日署名が寄せられ、649筆を市長に提出した。高齢者福祉タクシーの利用先制限をなくすことは、高齢者にとって切実な要求になっている。新年度から利用制限をなくし高齢者が必要なくろへ行けるように福祉タクシーを生活支援として利

用先制限をなくすこと
は、高齢者にとって切実な要求になっている。新年度から利用制限をなくし高齢者が必要なくろへ行けるように福祉タクシーを生活支援として利